



# 翁長は心の底から沖縄を愛し、 140万県民を命がけで守ろうとした 「命かじり頑張りましよう。」

翁長 樹子 みきこ 故・翁長雄志夫人

## 県民の心に1ミリも 寄り添おうとしない相手に 譲れない

泣かずにしゃべれる自信がありません。翁長雄志の家内の樹子でございます。本当にたくさんの方に支えていただいていたので、8月8日に急逝いたしました。ひと月半になります。

正直、翁長が亡くなって、頭の中では理解しているつもりなのに、心がなかなか追いつきません。洗濯物をたたんでいる時だとか、ご飯を出している時に突然、「あっ、そうだパパ」って顔をあげちゃうんですよね。そしたら遺影の翁長がいつも笑っているの。「ばかだなあ君は」って言って。

翁長が恋しいです。あの笑顔がもう一度見たい。あの笑い声がもう一度聞きたい。でも、かなわないから。私は今回、本当は静かに皆さん県民一人ひとりの方が出す結論を待とうと思っていました。ところが、日本政府の方のなさることが、あまりにもひどいから。

たった140万の沖縄県民に、オー

ルジャパンと称して政府の権力を全て行使して、私たち沖縄県民をまるで愚弄するように押しつぶそうとする。民意を押しつぶそうとする。何なんですか、これは。

こんなふうに出てくるというのは正直、とても躊躇はありました。でも、もう、何だか翁長が「もうみんな頑張らないといけないから君も一緒に頑張ってよ」と言ってくれたような気がして、今日はこの場に立っております。

この沖縄は、翁長が心の底から愛して、140万県民を本当に命がけで守ろうとした沖縄です。県民の心に1ミリも寄り添おうとしない相手の方には悪いけど、申し訳ないけど、私は譲りたくはありません。

## ウチナンチュの心の中を すべてさらけ出してでも 必ず勝利をかちとろう

うちの人の心を「オール沖縄の候補者」が継いでくれるんだと思ったら涙がとまりません。

残り1週間です。簡単には勝

てない、それでも簡単には負けない。翁長が信じていた私たちウチナンチュの心の中をすべてさらけ出してでも、マグマを噴き出させてでも、必ず勝利を勝ち取りましよう。

みなさん。頑張りましようね。命かじり。命かじりですよ。頑張りましようね。

うまんちゅ大集会でのあいさつより  
(9月22日、那覇市新都心公園)

ウチナンチュ  
マキテー ナイビランドー  
ヌチカジリ  
チバラナヤーサイ



あなたの一票は、翁長知事の遺志を継ぐ「オール沖縄」の候補者へ